

# 一般財団法人國學院大學院友会

## 平成 29 年度公益目的支出計画実施報告書

### 目 次

・ 提出書	P 1
・ 法人の基本情報	P 2
・ 公益目的支出計画実施報告書	P 3
実施事業（継続事業）の状況等	
継続事業 1	P 4～7
継続事業 2	P 8～12
継続事業 3	P 13～15
特定寄付の状況等	P 16～18
・ 実施事業会計で「共通」に区分された収益・費用について	P 19
・ 公益目的支出計画実施期間中の	
収支の見込みについて	P 20
・ 引当金等の明細	P 21

平成30年6月29日

内閣総理大臣

安倍晋三

殿

一般財団法人國學院大學院友会

法人の名称

代表者の氏名 吉田 茂穂

公益目的支出計画実施報告書等の提出について

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第127条第3項の規定により、別紙のとおり平成29年度（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の公益目的支出計画実施報告書等を提出いたします。

【別紙1:法人の基本情報】

法人コード	A019602
法人名	一般財団法人國學院大學院友会

1. 基本情報

フリガナ	イッパンザイダンホウジンコクガクインダイガクインユウカイ			
法人の名称	一般財団法人國學院大學院友会			
主たる事務所の住所及び連絡先	住所	〒1500011 東京都 渋谷区東4丁目12番8号		
	代表電話番号	03-3400-7781 (内線 ) FAX番号 03-3400-7996		
	代表メールアドレス			
	代表者の氏名	吉田 茂穂		
	事業年度	http://www.kokugakuin.or.jp 04月 01日 ~ 03月 31日		
担当者は	氏名(又は名称)	中里陽一	役職(又は担当者名)	総務部長
	電話番号	03-3400-7781	FAX番号	03-3400-7996
	電子メールアドレス			
	事業の概要	国学院大学の同窓会組織。国学院大学設立の趣旨をもって、会の発展、会員相互の親睦、母校の隆昌に寄与し、広く社会に貢献することを目的とする。学術文芸の振興、奨学、会報の編集発行。院友会館の運営、など。		

注：代理人による提出の場合は委任状を添付し、代理人が法人の場合は「氏名」の欄に名称を、「役職」欄に担当者名を記載してください。

## 【別紙2:公益目的支出計画実施報告書】

## 2. 公益目的支出計画実施報告書

【平成29年度(平成29年4月1日 から平成30年3月31日 まで)の概要】

1. 公益目的財産額	620,341,554円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額 ((1)+(2)-(3))	131,441,862円
(1)前事業年度末日の公益目的収支差額	108,797,247円
(2)当該事業年度の公益目的支出の額	29,087,491円
(3)当該事業年度の実施事業収入の額	6,442,876円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	488,899,692円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由 注	
<p>実施事業収入における計画との差額の約1,870,000円は、継1の育成事業において、指定正味財産から一般正味財産への振替を行ったこと、継2の講座・講演会事業中の平成27年度から始まった有料講座の受講料収入の増収によるものが主である。(2)当該事業年度の公益目的支出の額において、計画よりも約7,540,000円上回ったのは、継1・継2・継3・寄1いずれも各事業の実施状況に記したとおり、それぞれの決算額が計画を上回ったことによるものである。その結果、2. 当該事業年度の公益目的収支差額も、計画を約16,620,000円程上回った。この実績を見る限りでは、今後の実施事業の内容も問題なく、その実施期間に関しても当該事業年度末日において1年短縮される見込みとなっており、順調と考える。</p>	

注:詳細は、別紙様式に個別の実施事業等ごとに記載してください。

## 【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の 完了予定事業年度の末日	(1)計画上の完了見込み	平成60年3月31日
	(2)(1)より早まる見込みの場合	平成59年3月31日

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	620,341,554円	620,341,554円	620,341,554円	620,341,554円	620,341,554円
公益目的収支差額	97,848,500円	108,797,247円	114,818,200円	131,441,862円	131,787,900円
公益目的支出の額	21,543,000円	26,575,206円	21,543,000円	29,087,491円	21,543,000円
実施事業収入の額	4,573,300円	6,523,669円	4,573,300円	6,442,876円	4,573,300円
公益目的財産残額	522,493,054円	511,544,307円	505,523,354円	488,899,692円	488,553,654円

注:前事業年度及び当該事業年度の計画及び実績の額、翌事業年度の計画の額を記載してください。

## (2)〔公益目的支出計画実施報告書〕

## 【実施事業(継続事業)の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号	事業の内容
継 <sup>1</sup>	國學院大學学生支援を通じた青少年の育成事業

## (1)計画記載事項

事業の概要	
<p>(1)趣旨            本法人は、國學院大學の卒業生からなる同窓会組織であり、國學院大學の発展と在籍する後輩学生たちの支援活動は必要不可欠と考える。日本の将来を担う若者達への支援について、これまで同様積極的に取り組むものである。</p> <p>(2)事業            國學院大學学生等支援            【具体的支援内容】            ・学術・スポーツ振興資金            國學院大學が推進する貴重資料デジタル化事業の支援、及び國學院大學で推進している指定強化部会の支援            ・司法試験奨学金            司法試験合格を目指す学生(大学院生も含む)の支援            ・院友会長賞による学生の顕彰            学術分野、スポーツ分野で優秀な結果を残した学生の顕彰            ・その他            本法人が所有する「院友会館」を利用する際の施設の経費の減免、教職を目指す学生の支援、卒業後社会人として必要なマナーを学ぶための講習会の開催を行う</p> <p>*事業の公益性について            学術・スポーツ振興資金の事業のうち、学術部門は國學院大學で所有する貴重資料のデジタル化事業の支援であり、このデジタル化された資料は、インターネットを通じ全世界で閲覧が可能であり、学術研究に大きな役割を果たしているものである。スポーツ部門の支援は、國學院大學で強化を行っている指定強化運動部会の支援であり、スポーツを通じて青少年の健全な育成に寄与するものである。これらの事業は、事業の種類(別表の号)の内、「1 学術及び科学技術の振興を目的とする事業」「7 児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業」「9 教育、スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」に該当する。司法試験奨学金、及び院友会長賞による学生の顕彰事業は、何れも明確な目標を持ち、将来の日本を担うであろう若者の支援事業である。これらの事業は、事業の種類(別表の号)の内、「7 児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業」「9 教育、スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」に該当する。その他の諸事業も、学生の支援事業であり、これらの事業も、事業の種類(別表の号)の内、「7 児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業」「9 教育、スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」に該当する。</p> <p>(3)財源等            学術・スポーツ振興資金は、卒業生からの浄財を基に行う。他の事業については、会員(卒業生)からの一般寄付金・会費を主な財源とする。            別表E(2)-3の「特定資産受取利息」「受取寄付金」</p>	
(1)当該事業に係る公益目的支出の見込額	14,203,500円
(2)当該事業に係る実施事業収入の見込額	1,602,300円

## (2)当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について
<p>國學院大學学生等支援            【具体的実施事業】            ・学術・スポーツ振興資金            國學院大學が推進する貴重資料デジタル化事業への支援及び國學院大學で推進している指定強化部会、陸上競技部・硬式野球部・柔道部・卓球部・ソフトテニス部・スキー部の6団体へ支援を行った。            ・司法試験奨学金            母校法科大学院もその募集停止を決定しているため、関係部署とも相談の上支援を検討したが、本年度の該当者はいなかった。また、この支援の廃止について関係各部署との相談を経て、理事会決議を行った。            ・院友会長賞による学生の顕彰            母校の名声を高めた学生に贈呈した。            ／柔道部：藤阪泰恒(健体2年)君。平成29年2月18日開催／(ローマ)ヨーロッパオープン 60kg級日本代表／優勝            ・その他            学生の支援を実施。            教職を目指す学生に「学習指導要領」を贈呈。将来の有能な教育者の育成と、彼らの更なる学習意欲の向上を目的として実施。            更に、卒業後社会人として必要な知識を学ぶためのセミナーを開催し、学生のスキルアップ支援を行った(國學院大學キャリアサポート課との共催)            * 國學院大學キャリア講座／ライフプラン・法律編 平成30年1月10日(水)開催。41名参加。／マナー編 平成30年1月17日(水)開催。43名参加。マナー編では、会食のマナーも実践した。            本法人が所有する「院友会館」を利用する際の施設の経費の減免を実施。            研究会や各種団体の利用の際、青少年の健全な育成や、教育・スポーツ等を通じて心身の健全な発達、豊かな人間性を涵養することを目的としたものに対して実施。            * 対象件数 延べ 149件。            また平成27年度からは、「院友会館」を会場に実施された学生や留学生の日本の伝統文化体験の場に対しても、経費の減免により支援を行った。</p>

(1)当該事業に係る公益目的支出の額	15,507,927円
(2)当該事業に係る実施事業収入の額	3,100,174円
(3)((1)-(2))の額	12,407,753円
(4)当該事業に係る損益計算書の費用の額	15,605,849円
(5)当該事業に係る損益計算書の収益の額	3,100,174円
(1)及び(2)に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 注	
<p>実施事業収入における計画との差額の約1,490,000円は、学術・スポーツ振興資金制度での支援額の増と、その支援対象増に伴い、その資金を指定正味財産から一般正味財産に振替を行ったことによるものである。当該事業に係る公益目的支出の差額が、その見込額よりも約1,300,000円増となっているのは、前事業年度に続き学術・スポーツ振興資金制度での支援額の増と、支援対象の増によるもの、又本法人が有する「院友会館」利用の際の経費補助の対象が増となったためである。</p>	

注:この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

【実施事業(継続事業)の状況等】

(2)〔公益目的支出計画実施報告書〕

(3)実施事業資産の状況等

(事業単位ごとに作成してください。)

番号 注	資産の名称	時価評価資産の 算定日の時価	移行後に取得した 場合の取得価額	前事業年度末日の 帳簿価額	当該事業年度末日の 帳簿価額	使用の状況
ハ	建物	4,605,450円	円	6,151,216円	5,903,702円	計画記載どおり引き続き当該事業で使用。
	建物付属設備	円	31,299円	26,150円	23,862円	地中検用負荷開閉器を新規取得、自動ドア装置を更新。いずれも当該事業で使用。
	建物付属設備	円	23,722円	19,522円	16,556円	火災受信機を更新。当該事業で使用。
	建物付属設備	円	273,240円	0円	261,354円	昇降機設備を更新。当該事業で使用。

注:算定日に有していた資産については、移行認可申請書(別表A公益目的財産額の算定)に記載した資産の番号(イ1、ロ2・・・a1・など)を記載してください。

## (2)[公益目的支出計画実施報告書]

(事業単位ごとに作成してください。)

## 【実施事業(継続事業)の状況等】

事業番号	事業の内容
継1	國學院大學学生支援を通じた青少年の育成事業

## 【実施事業収入の額の算定について】

(1)「損益計算書の収益の額」に対応した(2)「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	(1)損益計算書の収益の額	(2)実施事業収入の額	(2)の額の算定に当たっての考え方 注
特定資産受取利息	174円	174円	指定正味財産中の特定資産受取利息に係る源泉所得税分を、一般正味財産に振替えたものである。
受取学術・スポーツ振興資金	3,100,000円	3,100,000円	指定正味財産中の学術・スポーツ振興資金のうち、当該年度支援分を一般正味財産に振替えたものである。
計	3,100,174円	3,100,174円	

注:実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

## 【公益目的支出の額の算定について】

(1)「損益計算書の費用の額」に対応した(2)「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	(1)損益計算書の費用の額	(2)公益目的支出の額	(2)の額の算定に当たっての考え方 注
建物減価償却費	134,734円	84,882円	時価評価したため。
建物付属設備減価償却費	129,920円	81,850円	時価評価したため。
その他	15,341,195円	15,341,195円	異なる費用科目はないため、(1)と(2)は同額である。
計	15,605,849円	15,507,927円	

注:(1)と(2)が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を(1)及び(2)欄に記載してもかまいません。



(2)〔公益目的支出計画実施報告書〕

【実施事業(継続事業)の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号	事業の内容
継2	豊かな人間形成を目的とした講座や講演会等の開催事業

(1)計画記載事項

事業の概要	
<p>(1)趣旨                      本法人は、「わが国の発展を将来に期するためには、日本の歴史・民族性に基づくものでなければならない」という國學院大學の建学の精神を基に、日本の伝統文化を後世に伝える役目を担うと考える。これを基本とした様々な事業を通じ、これまで同様積極的に社会貢献に取り組むものである。</p> <p>(2)事業                      講座・講演会事業                      【具体的事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座                              引き続き「風土記を読む」・「源氏物語講座」・「万葉集への招待」講座を定期的に開催した。「一般社団法人儀礼文化学会との共催講座」等の教養講座も開催。</li> <li>・講演会                              従来、年1回開催される院友大会(同窓会)に先がけて行う、時節に応じた内容の公開講演会の開催していたが、平成29年度は國學院大學創立135周年記念・國學院大學院友会発足130周年記念の年であったので、國學院大學博物館で『高円宮家所蔵 根付コレクション展』を大学と共に開催。妃殿下による「特別講演会・特別鑑賞」等も開催した。全国各地(支部)での公開講演会等の開催。特に、日本の伝統文化やそれに関する芸能を主たる目的とする諸事業に、より積極的に取り組みたいと考える。</li> <li>・その他                              本法人が所有する「院友会館」ロビーでのサロンコンサートの開催</li> </ul> <p>※なお、これらの事業の告知については、フリーペーパーや新聞・ホームページにて行っている。</p> <p>* 事業の公益性について                      講座及び講演会の事業については、いくつかの専門的分野を國學院大學の名誉教授・教授が学術的に教授するものであり、受講生は広く一般社会を対象としたものである。日本の伝統文化や、それに関する芸能を主たる目的とする全国各地(支部)での公開講演会等も、広く地域住民の方々を対象にした事業である。従って、この事業は事業の種類(別表の号)の内、「1 学術及び科学技術の振興を目的とする事業」「9 教育、スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」「19 地域社会の健全な発展を目的とする事業」に該当する。サロンコンサートの開催事業については、これまでも毎回子供から大人まで広い年齢層の方々に来場いただいている。昨今の気忙しい社会の中で、ほんの僅かな時間ではあるが、音楽を通じて地域の多くの方々に、豊かな人間性と感性を養っていただきたいという考えから行っているものである。従って、この事業は事業の種類(別表の号)の内、「2 文化及び芸術の振興を目的とする事業」「7 児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業」「9 教育、スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」「19 地域社会の健全な発展を目的とする事業」に該当する。</p> <p>(3)財源等                      講座は、受講希望者からの受講料による。ただし、その収益に対して費用が上回る場合は、会員からの一般寄付金・会費を財源に対応する。講演会・その他については、会員(卒業生)からの一般寄付金・会費を主な財源とする。                      別表E(2)-3の「講習会事業収益」「受取民間補助金」「受取利息」</p>	
(1)当該事業に係る公益目的支出の見込額	4,989,500円
(2)当該事業に係る実施事業収入の見込額	2,971,000円

(2)当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について
<p>講座・講演会事業                      【具体的事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座                              いくつかの専門的分野や日本の伝統文化について、國學院大學が培ってきた学問を中心に、國學院大學の名誉教授・教授等が学術的に教授する講座を開催。</li> </ul> <p>『風土記を読む(第2期)』の開催                      ・日 時:4月19日、5月10日、8月9日、9月13日、10月11日、11月8日、12月13日、平成30年1月17日、2月14日、3月14日                      全10回</p> <p>『源氏物語講座(第11期)』の開催 ~御幸(みゆき)・藤袴(ふじばかま)の巻を読む~                      ・日 時:4月17日、5月8日、8月7日、9月4日、10月9日、11月13日、12月11日、平成30年1月15日、2月12日、3月5日                      全10回</p> <p>『万葉集への招待(第3期)』の開催                      ・日 時:5月29日、7月24日(休講)、8月28日、9月25日、10月30日、11月27日(2コマ)、12月18日、平成30年1月29日、2月26日、3月26日 全10回</p> <p>公開講座『國學院の古典(第21回)』の開催                      ・古事記・万葉集・源氏物語・中国文学・風土記・国語学など、多彩な分野から講義を行った。                      ・日 時:平成30年1月9日(火)~13日(土) 5日間</p>

生活芸術講座の開催（一般社団法人儀礼文化学会との共催講座）  
 ・平成29年9月17日（日）「フラワーデザインの魅力について」を、10月15日（日）に「和食の手仕事－伝統を残す、日々のカー」を開催。

・講演会

公開講演会開催

豊かな人間性を涵養することを目的として開催。

\*平成29年5月27日（土）國學院大學渋谷キャンパス 常磐松ホールにおいて文化講演会を開催した。

講師：高円宮妃久子殿下  
 演題：『手のひらの小宇宙』  
 来場者：246名

\*大規模災害被災地支援事業（旧東日本大震災被災地支援事業）

・熊本県熊本市において、震災復興祈念コンサート『言葉の力 音魂の癒し』を開催した。

平成29年9月15日（金）19:00～21:00  
 ・講師：さだ まさし氏（國學院大學客員教授）  
 ・会場：熊本県立劇場コンサートホール  
 ・来場者：1,850名

・大分県大分市において、文化講演会を開催した。

平成29年8月26日（土）14:00～  
 ・講師：口演・矢野大和氏（88経）『日本人の底力』／講演・矢部健太郎氏（國學院大學文学部教授）『秀吉権力の特質と諸大名』  
 ・会場：大分センチュリーホール  
 ・来場者：90名

統一テーマ【もっと日本を学ぼう】による公開講演会を開催

A 岩手県盛岡市において文化講演会・シンポジウムを開催した。『古代蝦夷と城柵』

地域の歴史・伝統文化の継承、豊かな人間性を涵養することを目的として開催

日時：平成29年12月7日（日）10:20～16:30  
 ・会場：プラザおでってホール ・来場者：110名  
 ・講演：永田英明氏（東北学院大学教授）「文献資料から読み解く蝦夷」  
 八木光則氏（岩手大学客員教授）「考古資料から読み解く蝦夷」  
 樋口知士氏（岩手大学教授）「文献資料から読み解く城柵官衙」  
 伊藤武士氏（秋田県文化振興課副参事）「発掘調査から読み解く城柵官衙」  
 シンポジウム／司会 鈴木恵治（岩手県支部長）・伊藤博幸氏

B 山形県山形市において文化講演会を開催した。

社会貢献、豊かな人間性を涵養することを目的として開催。

日時：平成29年6月10日（土）13:00～15:30  
 ・会場：山形国際ホテル ・来場者：90名  
 ・講師：吉村美栄子氏（山形県知事）「世界に誇れる歴史と文化が息づく山形県」  
 三橋 健氏（元國學院大學文学部教授／70文・74修神・77博神）  
 「失われてゆく日本の心をどう救うか」

C 福島県南相馬市において文化講演会を開催した。『海山に祈る』

日本の伝統文化の継承、社会貢献、豊かな人間性を涵養することを目的として開催。

日時：平成29年11月11日（土）13:30～15:30  
 ・会場：南相馬市市民情報交流センター ・来場者：50名  
 ・講師：黒崎浩行氏（國學院大學神道文化学部教授）「祭りを続ける、祈りを支える」  
 ・演奏：オドバル氏（オルティンドー歌手）、直川礼緒氏（口琴） 「天空遙かー鎮魂の歌声」

D 群馬県高崎市において文化講演会を開催した。

『世界文化遺産の向こうに見えるもの』－養蚕の民俗芸能と養蚕唱歌－

地域の歴史・伝統文化の継承、豊かな人間性を涵養することを目的として開催  
 日時：平成29年9月9日（土）14:30～16:00  
 ・会場：ホワイトイン高崎 ・来場者：110名  
 ・講師：板橋春夫氏（日本工業大学工学部教授／84法）  
 ・演奏：養蚕唱歌研究同好会／藤岡地方ユネスコ少年少女合唱団

E 神奈川県鎌倉市において文化講演会を開催した。

『有職故実に学ぶ日本の伝統文化～唐衣裳五衣の着装を通して～』

社会貢献、豊かな人間性を涵養することを目的として開催。

日時：平成29年6月17日（土）15:00～16:30  
 ・会場：鶴岡八幡宮直会殿 ・来場者：100名  
 ・講師：鈴木真弓氏（國學院大學非常勤講師・元宮内庁書陵部／78史）

F 静岡県浜松市において文化講演会を開催した。

地域の歴史・伝統文化の継承、豊かな人間性を涵養することを目的として開催

日時：平成30年2月10日（土）15:30～17:00  
 ・会場：クラウンパレスホテル浜松 ・来場者：80名  
 ・講師：久野正博氏（浜松市博物館学芸員／93史2） 「遠江の戦国と井伊直虎」

G 島根県出雲市において文化講演会を開催した。

社会貢献、豊かな人間性を涵養することを目的として開催。

日時：平成29年7月30日（日）16:00～17:40  
 ・会場：ニューウエルシティ出雲 ・来場者：18名  
 ・講師：石井研士氏（國學院大學神道文化学部教授・副学長） 「結婚して、よかった？ 一儀礼文化の変容の現在」

H 沖縄県那覇市において文化講演会を開催した。

社会貢献、豊かな人間性を涵養することを目的として開催。

日時：平成29年6月3日（土）16:00～18:00  
 ・会場：パシフィックホテル沖縄 ・来場者：53名  
 ・講師：池田榮史氏（琉球大学法文学部教授／87史・89博前日本史学） 「水中考古学の魅力 ～沖縄から世界へ～」

・その他

サロンコンサート開催

音楽を通じて地域の多くの方々に、豊かな人間性と感性を養っていただくことを目的として、本会館ロビーにおいて開催。

\*開催日 平成29年7月22日（土）来場者170名・12月2日（土）来場者140名・平成30年3月3日（土）来場者149名

(1)当該事業に係る公益目的支出の額	8,380,880円
(2)当該事業に係る実施事業収入の額	3,342,702円
(3)((1)-(2))の額	5,038,178円

(4)当該事業に係る損益計算書の費用の額	8,470,289円
(5)当該事業に係る損益計算書の収益の額	3,342,702円
(1)及び(2)に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 注	
<p>実施事業収入における計画との差額の約370,000円は、平成27年度から開始した新規の有料講座の受講料によるものである。当該事業に係る公益目的支出の差額がその見込額から約3,390,000円増となっているのは、母校である國學院大學の創立135周年、及び本会発足130周年を記念した事業の実施と、これまでも展開してきた各地域での一般公開講演会開催に関する費用が計画を上回ったためである。積極的な事業の展開の結果、その収支差額(公益目的収支差額)も計画を上回っており、当該年度においても目標を達成できたものと考えられる。</p>	

注:この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

【実施事業(継続事業)の状況等】

(2)〔公益目的支出計画実施報告書〕

(3)実施事業資産の状況等

(事業単位ごとに作成してください。)

番号 注	資産の名称	時価評価資産の 算定日の時価	移行後に取得した 場合の取得価額	前事業年度末日の 帳簿価額	当該事業年度末日の 帳簿価額	使用の状況
ハ	建物	4,204,976円	円	5,616,303円	5,390,307円	計画記載どおり引き続き当該事業で使用。
	建物付属設備	円	28,578円	23,876円	21,786円	地中線負荷開閉器を新規取得、自動ドア装置を更新。いずれも当該事業で使用。
	建物付属設備	円	21,660円	17,825円	15,117円	火災受信機を更新。当該事業で使用。
	建物付属設備	円	248,480円	0円	238,628円	昇降機設備を更新。当該事業で使用。

注:算定日に有していた資産については、移行認可申請書(別表A公益目的財産額の算定)に記載した資産の番号(イ1、ロ2..a1..など)を記載してください。



## (2)[公益目的支出計画実施報告書]

## 【実施事業(継続事業)の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号	事業の内容
継 <sup>2</sup>	豊かな人間形成を目的とした講座や講演会等の開催事業

## 【実施事業収入の額の算定について】

(1)「損益計算書の収益の額」に対応した(2)「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	(1)損益計算書の収益の額	(2)実施事業収入の額	(2)の額の算定に当たっての考え方 注
講習会事業収益	1,592,680円	1,592,680円	講座の受講料であり、実施事業の収入とする。
受取民間補助金	1,750,000円	1,750,000円	講座・講演会開催目的のための國學院大學からの補助金であり、実施事業の収入とする。
雑収益	22円	22円	消費税納付額算出の際の差額が発生したため、それを計上したものの。
計	3,342,702円	3,342,702円	

注:実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

## 【公益目的支出の額の算定について】

(1)「損益計算書の費用の額」に対応した(2)「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	(1)損益計算書の費用の額	(2)公益目的支出の額	(2)の額の算定に当たっての考え方 注
建物減価償却費	123,018円	77,501円	時価評価したため。
建物付属設備減価償却費	118,628円	74,736円	時価評価したため。
その他	8,228,643円	8,228,643円	異なる費用科目はないため、(1)と(2)は同額である。
計	8,470,289円	8,380,880円	

注:(1)と(2)が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を(1)及び(2)欄に記載してもかまいません。

## (2)【公益目的支出計画実施報告書】

## 【実施事業(継続事業)の状況等】

(事業単位ごとに作成してください。)

事業番号	事業の内容
継3	社会貢献活動等を目的とした団体への会館の施設の提供または経費の補助事業

## (1)計画記載事項

事業の概要	
(1)趣旨 本法人は、広く地域の方々にも有効活用していただける「院友会館」を有することから、この施設が地域の方々の交流の場となり、それをきっかけとして更に地域が活性化するよう、これまで同様積極的に取り組むものである。	
(2)事業 会館施設の提供事業 【具体的事業内容】 地域社会の発展を主たる目的とした院友会館の利用について、その際の施設の提供、利用料の免除又は減免を行う。  * 事業の公共性について 本会館がある地は、小学校・中学校・高等学校が並ぶ文教地区であり、それぞれの保護者の方々も積極的に活動を行っている。また、町内会や各種団体の活動も盛んである。これらの活動が本会館で行われる際には、施設の提供や利用料の免除又は減免を行い、より明るい地域社会の構築と発展を目的とした事業である。 従ってこの事業は、事業の種類(別表の号)の内、「19 地域社会の健全な発展を目的とする事業」に該当する。	
(3)財源等 財源は、なし。	
(1)当該事業に係る公益目的支出の見込額	107,500円
(2)当該事業に係る実施事業収入の見込額	0円

## (2)当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について	
会館施設の提供事業 【具体的実施事業】 地域社会の発展を主たる目的とした院友会館の利用について、その際の施設の提供、利用料の免除又は減免を実施。 * 対象件数 延べ 28件	
(1)当該事業に係る公益目的支出の額	488,388円
(2)当該事業に係る実施事業収入の額	0円
(3)((1)-(2))の額	488,388円
(4)当該事業に係る損益計算書の費用の額	492,645円
(5)当該事業に係る損益計算書の収益の額	0円
(1)及び(2)に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 注	
当該事業は、本事業の対象増に伴い、その費用が計画時の見込額を上回ったため、公益目的支出が増となっている。	

注:この事業に係る公益目的支出の額等の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

【実施事業(継続事業)の状況等】

(2)[公益目的支出計画実施報告書]

(3)実施事業資産の状況等

(事業単位ごとに作成してください。)

番号 注	資産の名称	時価評価資産の 算定日の時価	移行後に取得した 場合の取得価額	前事業年度末日の 帳簿価額	当該事業年度末日の 帳簿価額	使用の状況
ハ	建物	200,235円	円	267,440円	256,678円	計画記載どおり引き続き当該事業で使用。
	建物付属設備	円	1,360円	1,139円	1,041円	地中線用負荷開閉器を新規取得、自動ドア装置を更新。いずれも当該事業で使用。
	建物付属設備	円	1,031円	848円	720円	火災受信機を更新。当該事業で使用。
	建物付属設備	円	11,880円	0円	11,363円	昇降機設備を更新。当該事業で使用。

注:算定日に有していた資産については、移行認可申請書(別表A公益目的財産額の算定)に記載した資産の番号(イ1、ロ2・・・a1・・・など)を記載してください。

## (2)[公益目的支出計画実施報告書]

(事業単位ごとに作成してください。)

## 【実施事業(継続事業)の状況等】

事業番号	事業の内容
継 <sup>3</sup>	社会貢献活動等を目的とした団体への会館の施設の提供または経費の補助事業

## 【実施事業収入の額の算定について】

(1)「損益計算書の収益の額」に対応した(2)「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	(1)損益計算書の収益の額	(2)実施事業収入の額	(2)の額の算定に当たっての考え方 注
	0円	0円	
計	0円	0円	

注:実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

## 【公益目的支出の額の算定について】

(1)「損益計算書の費用の額」に対応した(2)「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たっての考え方を記載してください。

損益計算書の科目	(1)損益計算書の費用の額	(2)公益目的支出の額	(2)の額の算定に当たっての考え方 注
建物減価償却費	5,858円	3,691円	時価評価したため。
建物付属設備減価償却費	5,647円	3,557円	時価評価したため。
その他	481,140円	481,140円	異なる費用科目はないため、(1)と(2)は同額である。
計	492,645円	488,388円	

注:(1)と(2)が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を(1)及び(2)欄に記載してもかまいません。



## (3)〔公益目的支出計画実施報告書〕

(特定寄附ごとに作成してください。)

## 【特定寄附の状況等】

事業番号	寄附の内容
寄 <sup>1</sup>	学校法人國學院大學への学生の奨学資金及び学校法人國學院大學が実施する社会貢献事業への寄付

## (1)計画記載事項

当該寄附の相手方の名称及び所在場所	学校法人國學院大學 東京都渋谷区東4-10-28
寄附の実施予定時期及び必要な財源等について	
この寄付については、年度毎に計画的・継続的に実施したい。 財源は、会員(卒業生)からの一般寄付金・会費を主とする。	
(1)当該寄附に係る公益目的支出の見込額	1,800,000円

## (2)当該事業年度の実施状況

当該寄附の相手方の名称及び所在場所	学校法人國學院大學 東京都渋谷区東4-10-28
寄附の実施状況等について	
國學院大學学生への奨学資金(大規模災害学費減免制度への協力)及び学校法人國學院大學が実施する社会貢献事業、更に國學院大學創立135周年を記念する奨学資金として合計4,235,000円の寄附を実施。	
(1)当該寄附に係る公益目的支出の額	4,235,000円
(2)当該寄附に係る損益計算書の費用の額	4,235,000円
公益目的支出計画記載事項(実施時期や支出の見込額と実績の額など)の変更の内容及び理由(1)に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由 注	
当初計画においては、國學院大學学生への奨学資金として1,000,000円の寄附の予定であったが、当該事業年度においても大学当局とも相談の上、前事業年度同様に大規模災害学費減免制度への協力として2,000,000円の寄附を行った。更に、國學院大學創立135周年を記念する奨学資金として2,000,000円の寄附を行ったため、当初の見込額よりも大幅に支出増となっている。	

注:この寄附に係る公益目的支出の額の変更が、公益目的支出計画全体の実施に影響を与えるか否かについても記載してください。

(3)[公益目的支出計画実施報告書]

【特定寄附の状況等】

(3)当該寄附に係る時価評価資産の状況等

(特定寄附ごとに作成してください。)

番号	資産の名称	算定日の時価	前事業年度末日の帳簿価額	当該事業年度末日の帳簿価額	使用の状況	
	なし	円	円	円		

※時価評価資産のうち、当該寄附の対象としている資産を記載してください。

(3)〔公益目的支出計画実施報告書〕

(特定寄附ごとに作成してください。)

【特定寄附の状況等】

事業番号	特定寄附の内容
寄 <sup>1</sup>	学校法人國學院大學への学生の奨学資金及び学校法人國學院大學が実施する社会貢献事業への寄附

【公益目的支出の額の算定について】

(1)「損益計算書の費用の額」に対応した(2)「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たったの考え方を記載してください。

損益計算書の科目	(1)損益計算書の費用の額	(2)公益目的支出の額	(2)の額の算定に当たったの考え方 注	
寄付金	4,235,000円	4,235,000円	(1)と(2)は同額である。	
計	4,235,000円	4,235,000円		

注：(1)と(2)が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を(1)及び(2)欄に記載してもかまいません。

## (4)[公益目的支出計画実施報告書]

## 【実施事業等会計で「共通」に区分された収益・費用について】

損益計算書の「実施事業等会計」において「共通」の会計区分を設けている場合、その収益・費用について記載してください。

「共通」の会計区分を設けていない場合は、本表の作成は不要です。

## 【実施事業収入の額の算定について】

(1)「損益計算書の収益の額」に対応した(2)「実施事業収入の額」を記載し、その算定に当たった考え方を記載してください。

損益計算書の科目	(1)損益計算書の 収益の額	(2)実施事業収入 の額	(2)の額の算定に当たった考え方 注	
	0円	0円		
計	0円	0円		

注:実施事業収入の額の算定の記載事項について、必要な説明書類を添付してください。

## 【公益目的支出の額の算定について】

(1)「損益計算書の費用の額」に対応した(2)「公益目的支出の額」を記載し、その算定に当たった考え方を記載してください。

損益計算書の科目	(1)損益計算書の 費用の額	(2)公益目的支出 の額	(2)の額の算定に当たった考え方 注	
その他	475,296円	475,296円	異なる費用科目はないため、(1)と(2)は同額である。	
計	475,296円	475,296円		

注:(1)と(2)が同額である場合には、「科目」欄を「その他」として、まとめた額を(1)及び(2)欄に記載してもかまいません。

## 別表A〔公益目的支出計画実施報告書〕

## 【公益目的支出計画実施期間中の収支の見込みについて】

## (1) その他の主要な事業について

変更の内容及び公益目的支出計画の実施に対する影響等 注1

該当なし。

注1: その他の主要な事業として、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」に記載した事業のうち、その事業の内容や実施方法に変更があった場合に、事業番号、変更の内容、その理由及び公益目的支出計画の実施に対する影響を記載してください。  
また、新たにその他の主要な事業を開始した場合は、その旨、当該事業の概要及び公益目的支出計画の実施に対する影響を記載してください。なお特に記載すべき内容がない場合はその旨入力してください。

## (2) 資産の取得や処分、借入について

実施内容(計画の変更内容)及び公益目的支出計画の実施に対する影響等 注2

該当なし。

注2: 「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載した多額の借入や施設の更新、高額財産の取得・処分等の活動を実施した場合は、公益目的支出計画に与えた影響を記載してください。また、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載したもののうち、計画内容に変更があった場合に、変更の内容、その理由及び公益目的支出計画に対する影響を記載してください。  
また、「公益目的支出計画実施期間中の収支の見込み」の備考欄に記載したものの以外で、法人全体の財務に大きな影響を与える活動を新たに予定する場合は、その内容、理由及び公益目的支出計画に対する影響を記載してください。なお特に記載すべき内容がない場合はその旨入力してください。

## 別表B〔公益目的支出計画実施報告書〕

## 【引当金等の明細】

## (1) 実施事業に係る引当金

番号	引当金の名称		目的		事業番号
	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
1	退職給付引当金		職員の退職給付に備えるため		継1、継2、実施事業 共通、その他の事業、 法人事業
	43,658,800円	1,998,800円	円	円	45,657,600円

## (2) (1)以外の引当金のうち、算定日において計上していたもの

番号	引当金の名称		目的		期末残高
	期首残高	当期増加額	当期減少額		
			目的使用	その他	
	円	円	円	円	円

## (3) 「その他支出又は保全が義務付けられているもの」としたもの 注

番号	財産の名称		目的		期末の価額
	期首の価額	当期増加額	当期減少額		
			目的使用	その他	
	円	円	円	円	円

注：算定日において、退職給付会計導入に伴う変更時差異の未処理額を公益目的財産額から控除した場合には、当該未処理額は記載不要です。なお特に記載すべき内容がない場合は空欄のまま「登録」ボタンをクリックしてください。